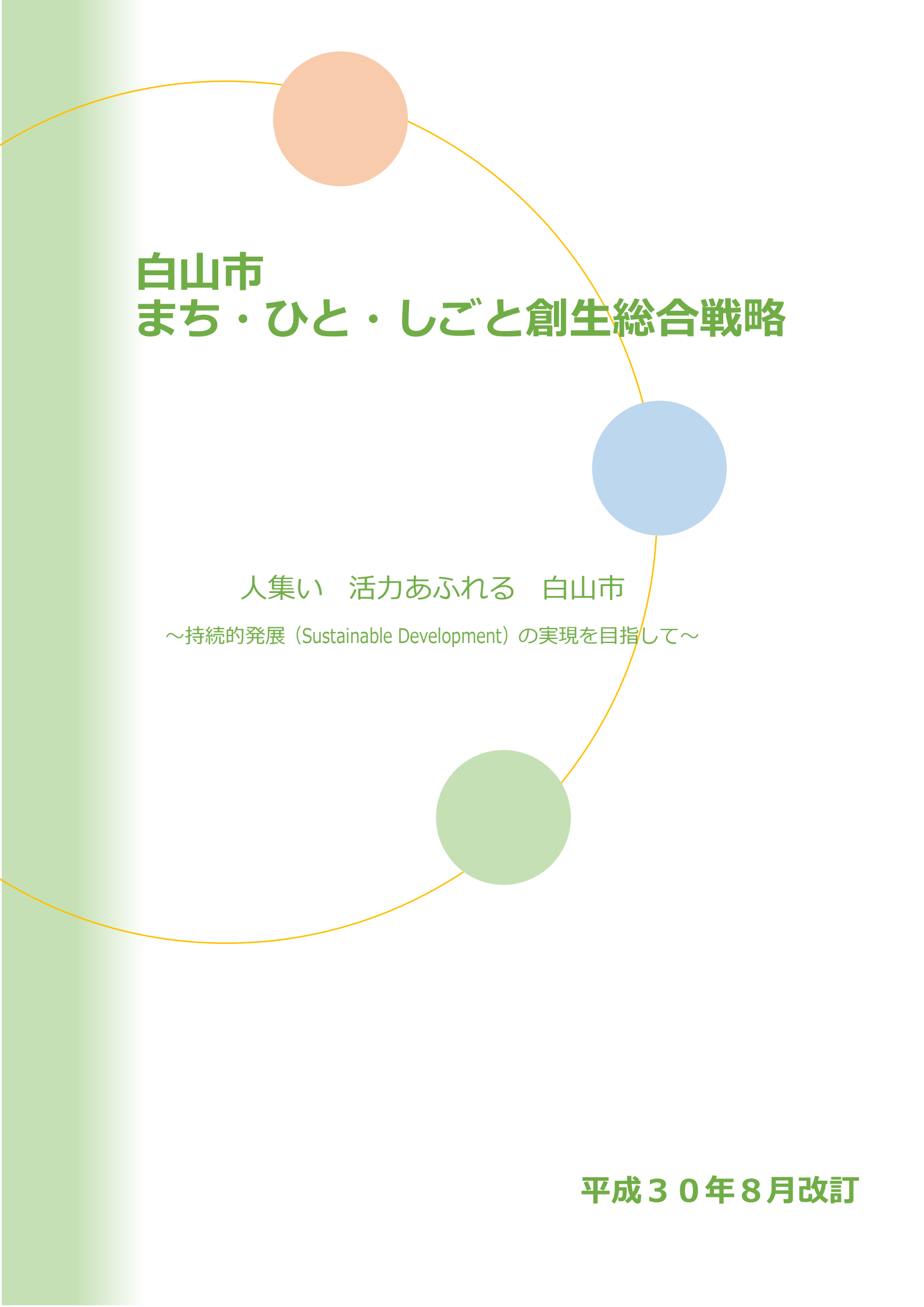




白山市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

人集い 活力あふれる 白山市

～持続的発展（Sustainable Development）の実現を目指して～

平成30年8月改訂

目 次

1. 総合戦略の位置づけと役割	1
1) 計画策定の背景・目的	1
2) 計画期間	1
3) フォローアップ体制	2
4) 総合計画と人口ビジョン・総合戦略の関係	3
2. 将来展望と市民ニーズ	4
1) 人口の将来展望	4
2) 白山市が目指す将来の姿	5
3. 基本目標と達成に向けた重点的な取り組み	6
1) 4つの基本目標と施策の基本的方向	6
2) 目標の達成に向けた重点的な取り組み	7
4. 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）	8
1 商工業の集積と農林水産資源を活かした 「仕事・雇用」創生戦略	8
2 白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした 「観光・交流」創生戦略	14
3 安心して子どもを産み育てられる 「子育て・教育」創生戦略	20
4 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ 「都市・地域」創生戦略	25

1. 総合戦略の位置づけと役割

1) 計画策定の背景・目的

本市は、平成 17 年 2 月 1 日の合併により誕生し、平成 19 年 3 月に「第一次白山市総合計画」を策定し、将来像である「豊かな自然と共生する自立と循環の都市 ～ 白山から日本海まで 交流・連携そして協働による活力あるまちづくり ～」の実現を目指し、様々なまちづくり施策を展開してきた。

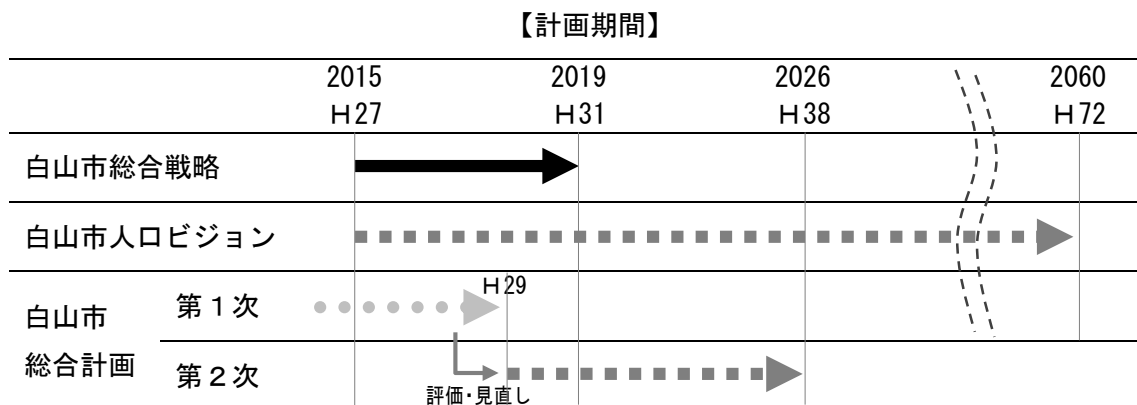
一方、平成 26 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本を維持することに国を挙げて取り組むとする「地方創生」の考え方が示された。

本市では、これらの基本的な考え方や国が示す政策 5 原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）を踏まえ、「白山市人口ビジョン（以下、人口ビジョン）」及び「白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）」を策定することとする。

本市の総合戦略は、中長期的な将来展望を見据えつつ、具体的かつ実効性のある施策・事業を展開することにより、「まち」「ひと」「しごと」を創生することで、人口減少や少子高齢化の進行による地域経済や地域社会の縮小を克服することを目指しており、国連が提唱する「SDGs（持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals）」と合致するものである。この SDGs の理念に基づき、これらの取り組みを進めることにより、SDGs の実現を目指すものである。

2) 計画期間

本戦略の計画期間は、平成 27（2015）年度～平成 31（2019）年度の 5 か年とする。



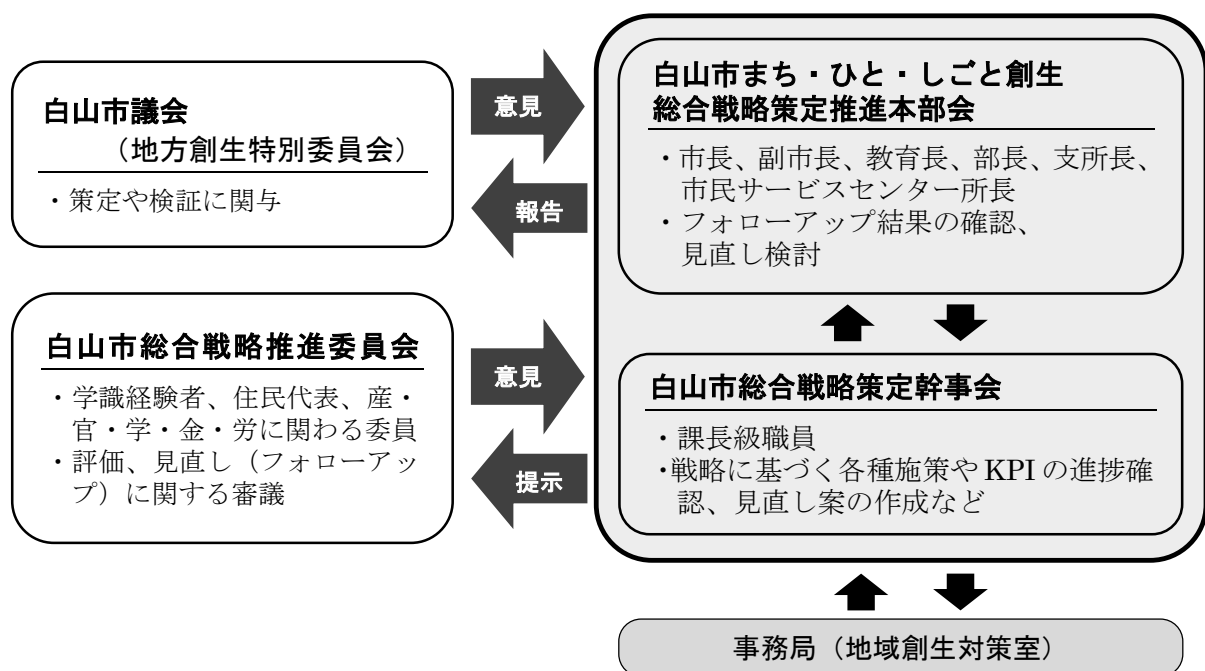
3) フォローアップ体制

総合戦略の策定にあたっては、学識経験者や住民代表、産・学・官・金・労の各分野の代表者から構成される「白山市総合戦略推進委員会」をはじめ、庁内組織である「白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進本部会」及び「白山市総合戦略策定幹事会」が中心となりとりまとめた。

今後、「まち・ひと・しごと」の創生の実現にむけ、総合戦略の推進及び評価・検証を行い、必要に応じて改定を行う。このPDCAマネジメントの実行にあたっては、総合戦略推進委員会メンバーから構成する「総合戦略フォローアップ会議」を開催し、具体的施策及び重要業績評価指標（KPI※）の進捗を踏まえ、継続的な見直しを行う。

※KPI：Key Performance Indicator

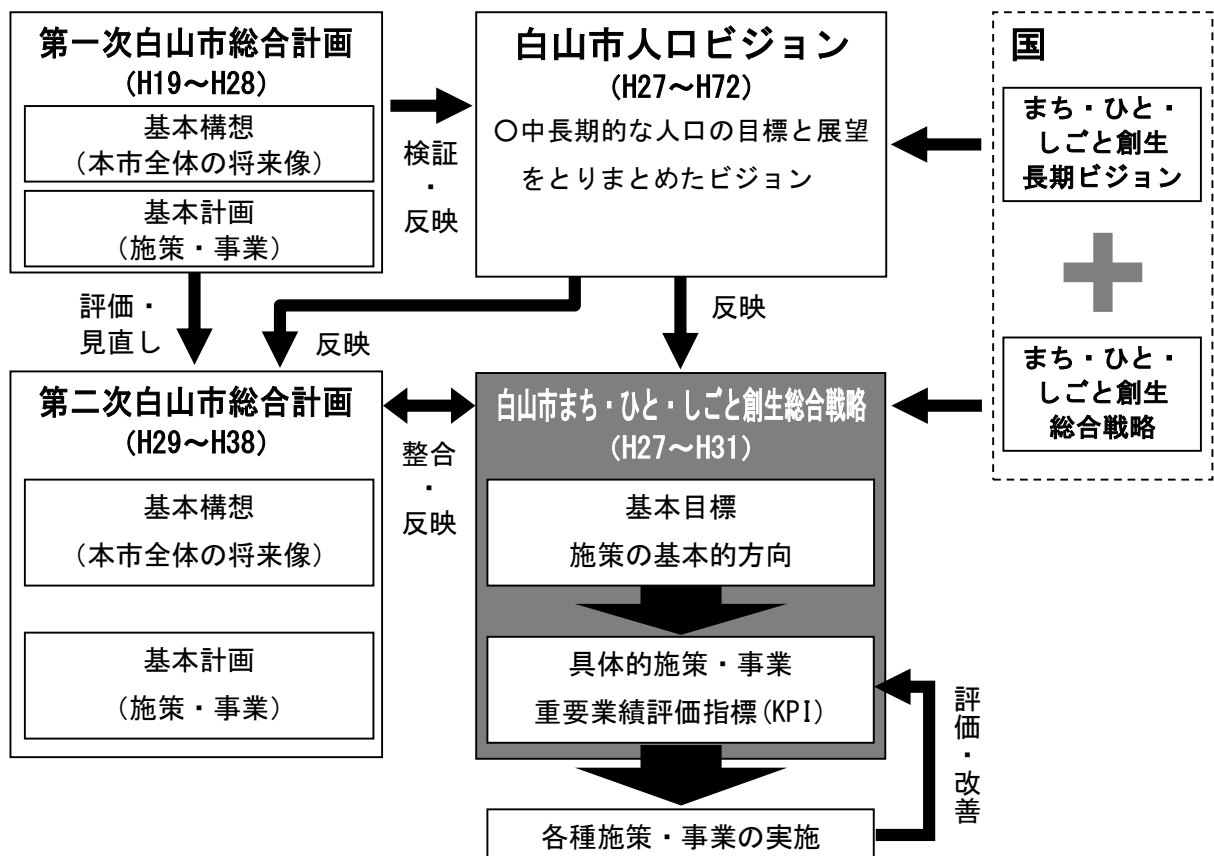
【総合戦略の策定・推進・フォローアップ体制】



4) 総合計画と人口ビジョン・総合戦略の関係

総合計画は、本市の総合的な振興・発展などのため、行政全般にわたる目標や取り組むべき施策をまとめた市の最上位計画である。一方、総合戦略は、特に人口減少問題や地域経済の縮小の克服にむけた「まち・ひと・しごと」の創生と好循環の確立を目指す施策・事業を組み合わせ、より具体的かつ戦略的に施策を展開するための計画であり、密接な関連を持つものである。

【総合計画・人口ビジョン・総合戦略の関係性】



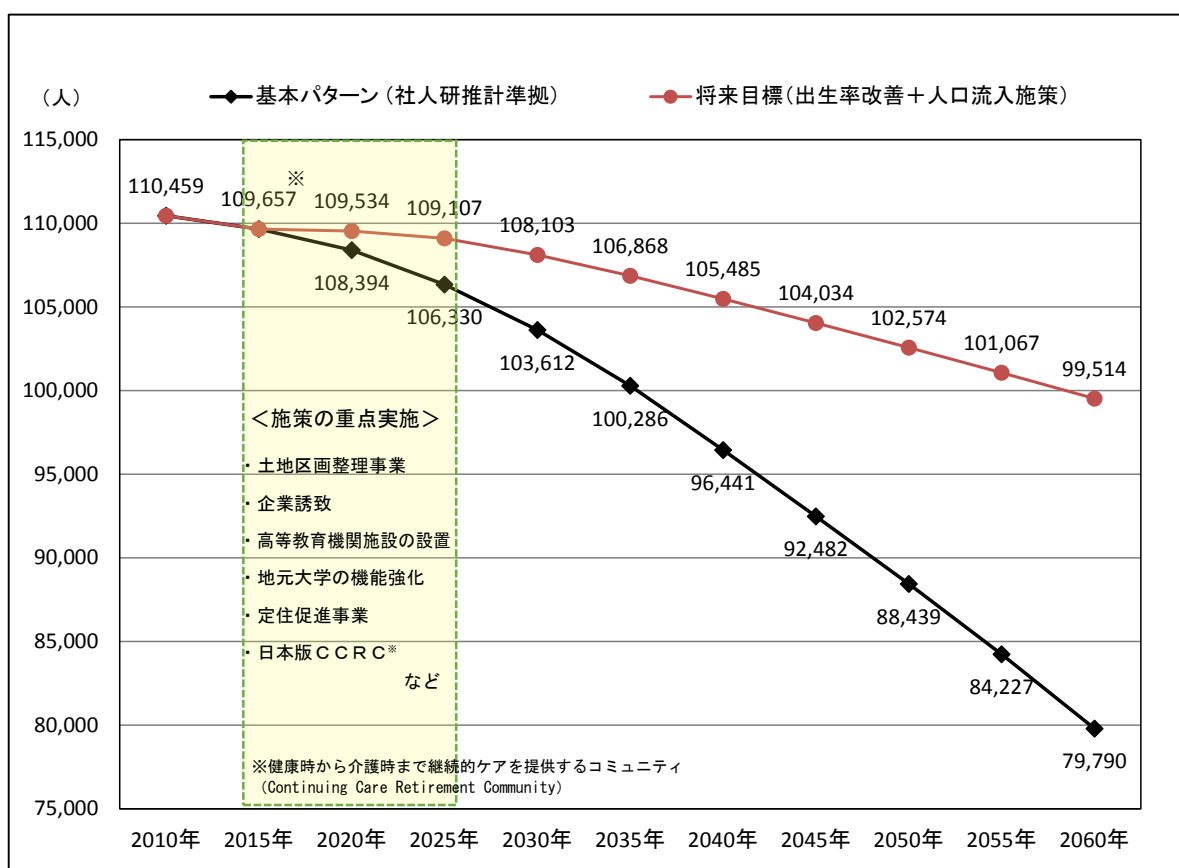
2. 将来展望と市民ニーズ

1) 人口の将来展望

本市では既に人口減少が生じており、全国的な動向を勘案すれば、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研）の推計が示すように、将来的にもこの傾向は続くものと考えられる。一方、国における出生率の上昇に向けた取り組みに加え、本市の魅力を最大限に活かし、企業誘致をはじめ、土地区画整理事業の促進や、移住・定住施策による転入者の増加や転出者の縮減など、各種施策・事業を推進することで人口減少の抑制を目指す。

以上により、白山市人口ビジョンを踏まえ、本市の将来の推計人口は、平成 31（2019）年では 109,558 人、平成 72（2060）年では 99,514 人となる。なお、白山市としては、10 万人の確保を目指す。

【人口の中長期的な将来展望】



※ 2015年の推計人口（国勢調査人口）については、住民基本台帳人口の減少傾向を踏まえ、補正を加えている。これに伴い、2020年以降の推計人口も影響を受けるため、社人研公表の推計人口とは異なる。

2) 白山市が目指す将来の姿

①商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」を目指す

大学進学等により、10代後半～20代前半の若い世代の転出が顕著であるが、就職を機にふるさと白山で豊かな生活を送りたい人々の希望を実現するために、安定した雇用の場の確保が必要である。

このため、本市の立地特性や資源を活かした戦略的な企業誘致を推進するとともに、食や伝統産業などを活かした地域内外での経済循環を生み出す仕組みを構築することで、市内での安定した雇用を創出する。

②白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」を目指す

近年は、周辺の都市や大都市圏に転出超過の傾向となっていることから、その抑制を図るとともに、白山から日本海の豊かな自然や歴史・文化などを活かすことにより、本市で暮らしたい、訪れたいと希望する人材を積極的に招き入れ、新たな賑わいや活力を創出する必要がある。

このため、本市の魅力をさらに磨き、積極的な情報発信や受け入れ態勢の強化などにより、市外からの移住や観光・交流人口の増加を図るとともに、市内での地域間の交流を促進することで、新しいひとの流れをつくりだす。

③安心して子どもを産み育てられる「子育て・教育」を目指す

本市の合計特殊出生率は1.44（2013年）であり、全国の1.43とほぼ同様であるものの、人口置換水準（2.07）を大きく下回る状況であり、市民の結婚や子育ての希望を実現するための総合的な取り組みが必要である。

このため、結婚・妊娠・出産・育児をしやすい環境整備に重点を置き、ワーク・ライフ・バランスの改善など、若い世代が仕事と子育ての両立を図ることができる労働環境の創出に向けた取り組みを進める。

④平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」を目指す

人口減少や少子高齢化により、集落コミュニティ機能や住民の生活に必要なサービス機能の低下等が予想され、平野部から白山ろくに広がる特色ある地域と地域の連携や、市民と行政の協働により、今後予測される人口減少や高齢化などの時代の変化に応じた地域づくりに取り組む必要がある。

このため、地域間及び広域的なネットワークの強化により、市民がいきいきと暮らすことができる地域づくりとともに、豊かな自然と調和した生活環境の整備充実を進めることで、市民が地域に誇りを持ち、安全で、安心して暮らし続けることができる環境を創出する。

3. 基本目標と達成に向けた重点的な取り組み

1) 4つの基本目標と施策の基本的方向

国の総合戦略における4つの基本目標を踏まえつつ、白山・手取川・日本海を軸とする本市の地域特性や目指す将来展望を勘案し、総合戦略の4つの基本目標及び施策の方向を定める。

＜国の方針＞

基本目標①
地方における
安定した雇用を
創出する

基本目標②
地方への新しい
ひとの流れを
つくる

基本目標③
若い世代の
結婚・出産・
子育ての希望を
かなえる

基本目標④
時代に合った
地域をつくり、
安心な暮らしを
守るとともに、
地域と地域を
連携する

＜白山市総合戦略の基本目標と施策の基本的方向＞

基本目標 1

商工業の集積と農林水産資源を活かした
「仕事・雇用」創生戦略

＜施策の基本的方向＞

- (1) 市内中小企業の振興による雇用機会の創出と創業支援
- (2) 白山の恵みである農林水産資源を活かした仕事の充実・創造
- (3) 大都市からの人材還流を見据えた企業誘致の推進

基本目標 2

白山から日本海の豊かな自然と
歴史・文化を活かした 「観光・交流」創生戦略

＜施策の基本的方向＞

- (1) 移住・定住を支える事業・制度の充実
- (2) 山・川・海の魅力を活かした交流人口の拡大
- (3) 地元大学等の充実と学生の定着化の促進

基本目標 3

安心して子どもを産み育てられる
「子育て・教育」創生戦略

＜施策の基本的方向＞

- (1) 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のないサポートの充実
- (2) 子どもたちの教育環境の充実
- (3) 出会いの場の創出と定住促進
- (4) ワーク・ライフ・バランスの改善

基本目標 4

平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを
守りつなぐ 「都市・地域」創生戦略

＜施策の基本的方向＞

- (1) 生活基盤の充実とストックマネジメントの推進
- (2) 医療・福祉の充実と健康づくりの推進
- (3) 地域の防災力向上に資する取り組みの推進
- (4) 魅力ある地域づくりとシビックプライドの醸成

2) 目標の達成に向けた重点的な取り組み

人口ビジョンで掲げる平成 72 (2060) 年に人口 10 万人の確保を実現するため、総合戦略の目標年次である平成 31 (2019) 年には概ね 109,500 人の人口を維持する必要がある。そのため、基本目標ごとに成果指標および重点的な取り組みを設定し、施策展開を図る。

基本目標 1

商工業の集積と農林水産資源を活かした
「仕事・雇用」創生戦略

＜成果指標＞ 基準 (H26) 目標 (H31)
●市内従業者数 53,650 人 ⇒ 55,400 人

＜重点的な取り組み＞

- ◎ 6 次産業化の取り組み支援
- 創業支援の推進
- 企業誘致の推進

基本目標 4

平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らし
を守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

＜成果指標＞ 基準 (H26) 目標 (H31)
●住み良いと感じる割合 59% ⇒ 70%

＜重点的な取り組み＞

- 公共交通の利便性の向上
- 空き家対策の推進
- ◎連携中枢都市圏の推進
- ◎市民提案型によるまちづくりの推進



基本目標 2

白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化
を活かした「観光・交流」創生戦略

＜成果指標＞ 基準 (H26) 目標 (H31)
●人口の社会増減数 ▲133 人 ⇒ +500 人 (5 年間)
●観光入込客数 496 万人 ⇒ 550 万人

＜重点的な取り組み＞

- 市外からの定住者への住宅購入費等の支援
- 土地区画整理事業による宅地の整備促進
- ◎白山開山 1300 年を契機とした白山ブランド確立に対する支援
- 地元大学の機能強化
- ◎日本版 C R C の推進 (多世代交流・多機能型拠点の整備)
- ◎高等教育機関のキャンパスや研修施設設置による地域産業振興の推進

基本目標 3

安心して子どもを産み育てられる
「子育て・教育」創生戦略

＜成果指標＞ 基準 (H26) 目標 (H31)
●合計特殊出生率 1.49 ⇒ 1.54

＜重点的な取り組み＞

- 子育てに関する経済的負担の軽減
- ◎夜間・休日小児医療の診療体制の構築
- ◎3 世代同居・近居の支援
- 若年層の新築住宅の購入への支援
- 新婚者への家賃補助

〔凡例〕◎… 平成 27 年度からの新たな取り組み

4. 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

1

商工業の集積と農林水産資源を活かした 「仕事・雇用」創生戦略

1) 基本目標

本市は、県内有数の工業従業者数・製造品出荷額を上げており、女性の就業率は県内最高水準を誇る。また、白山や日本海の恩恵を受けた豊かな水と農林水産資源を有し、醸造をはじめとした伝統的な発酵食品文化がある。

これらの既存の産業基盤を活かすとともに、伝統産業や商店街の活性化、中小企業などの育成・支援のほか、新たな創業を支援し、多様で付加価値の高い産業の集積を促進することで、新しい「しごと」（雇用）の創出を図り、市民（特に若者）の働く場の確保と安心して働ける環境の創出を目指す。

2) 施策の基本的方向

（1）市内中小企業の振興による雇用機会の創出と創業支援

本市の基幹産業である機械・電子関連などの既存産業の維持・成長を図りつつ、新たな産業・事業の創出により産業規模の拡大を図るとともに、白山市が誇る伝統産業の振興や商店街の活性化、中小企業の経営支援などの産業振興を通じて、地域の雇用と経済の維持・拡大を図る。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①中小企業の育成及び競争力強化
- ②創業支援の推進
- ③中心商店街の活性化

（2）白山の恵みである農林水産資源を活かした仕事の充実・創造

本市には白山の恵みを受けた「山の幸」「海の幸」だけでなく、それらを活かした白山菊酒や酢、豆腐、ふぐの糠づけなど、伝統的な方法を使った特産品が数多く存在し、豊かな食や食文化がある。これらの資源の地産地消を積極的に推進するとともに、6次産業化や農林水産物のブランド化による付加価値の向上などに取り組み、生産・加工・販売・消費のサイクルの促進により、地元農産物の消費拡大及び農業所得の向上を図る。さらに、農林水産業の生産基盤の整備・充実を図り、産業の安定した発展を支援する。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①農林水産物の販売促進及び付加価値の向上
- ②新たな地域特産品の開発及び販売促進
- ③担い手の確保及び生産基盤の充実

4-1. 商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」創生戦略

(3) 大都市からの人材還流を見据えた企業誘致の推進

企業誘致に向け、山島工業団地をはじめとする工業団地の整備を進め、既存工業団地の情報発信や企業ニーズに応じた各種支援の充実を図るとともに、U I J ターン希望者とのマッチングなどにより、大都市からの人材の還流を図る。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①新たな雇用の創出に向けた企業誘致の推進
- ②市内企業等における就労の拡大と人材の確保

3) 成果指標

魅力ある農林水産業や商工業の振興を図るとともに、多様で付加価値の高い産業の集積や新たな産業の創出・人材還流を見据えた企業誘致の推進などの各種施策の展開により、市民の働く場を確保し、市内従業者数の増加を目指す。

成 果 指 標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
市内従業者数	53,673 人	55,400 人

4) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

（1） 市内中小企業の振興による雇用機会の創出と創業支援

①中小企業の育成及び競争力強化

- ・地域の雇用と経済を支える市内中小企業の近代化・合理化による経営基盤の安定化を図るとともに、人材の確保及び育成を支援し、地域活力の活性化を図る。
- ・各企業が有する技術や製品の国内外に向けた販路開拓活動を支援するとともに、新製品の開発など新たな事業活動の促進による産業の活性化を図る。

内 容

- 設備投資や経営基盤の安定化に対する支援
- 炭素繊維を用いた製品の市場開拓に向けたPR支援
- 技術者の表彰などによる技術水準の向上と人材の育成
- 受注拡大や新規取引先の開拓に向けた国内外の見本市などへの出展支援

②創業支援の推進

- ・産業の活性化や新たな雇用創出を図るため、創業に対する情報提供や空き店舗等を活用した起業家に対して支援を行う。

内 容

- 経済団体等との連携強化による創業希望者への総合的な支援
- 空き店舗等の利活用の支援

③中心商店街の活性化

- ・商店街の賑わい創出を図るため、商店街事業者が意欲的に取り組む活動を支援し、商店街全体の魅力の向上と活性化を図る。

内 容

- 商店街イメージアップへの支援
- 商店街空き店舗活用への支援

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
起業家支援補助金の申請件数	1 件	5 年間で 10 件
創業者支援融資利子補給金事業の申請件数	—	8 件
商店街新規出店事業補助金の申請件数	0 件	5 年間で 5 件

4-1. 商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」創生戦略

(2) 白山の恵みである農林水産資源を活かした仕事の充実・創造

①農林水産物の販売促進及び付加価値の向上

・環境保全型農業への取り組みや園芸作物の産地化、生産・加工・販売による6次産業化などの付加価値の向上を図るとともに、地産地消や食育の推進、生産者自らによる販売促進等に取り組み、所得の向上を図る。
内 容
○環境保全型農業の取り組みに向けた支援
○園芸作物の産地化や経営の複合化に向けた支援
○地元農産物販売施設設置による園芸振興
○持続可能な所得を確保できる農業経営の支援
○生産出荷情報の発信及び販売促進活動の支援
○6次産業化の取り組み支援
○地産地消や食育の推進
○地域の木材利用や未利用森林資源の利活用の促進

②新たな地域特産品の開発及び販売促進

・白山の豊富な地域資源を活かした農商工連携による特産品の開発を推進するとともに、既存の特産品の販売促進に取り組み、地域経済の活性化を図る。
内 容
○白山菊酒など特産品に関連するイベントの開催支援
○酒造メーカーが求める酒米生産に対する支援
○ジビエ※の普及、促進、安定供給の確保
○中山間地域の振興作物である「そば」の安定した品質・収量確保に対する支援

※ ジビエ：シカ、イノシシなど狩猟によって食材として捕獲される野生鳥獣やその肉。近年、積極的に料理に活用し消費を拡大していこうという取り組みが各地で進んでいる。

4-1. 商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」創生戦略

③担い手の確保及び生産基盤の充実

・農林水産業の担い手の確保を積極的に推進するとともに、担い手が安定的に生産活動を行える基盤を充実し、農林水産業の振興を図る。
内 容
○新規就農者の確保及び経営基盤の強化に向けた支援
○農地の集約化や農業用機械・施設の整備への支援
○集落ぐるみでの有害鳥獣対策の推進
○中山間地域の農業生産の維持と多面的機能の確保
○水産資源の確保と漁場の適正管理

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
環境保全型農業支援対策事業の取組面積	60ha	80ha
白山市産酒米のブランド化に向けた作付支援面積	—	140ha
青年就農給付金の受給者数	7 人	13 人

(3) 大都市からの人材還流を見据えた企業誘致の推進

①新たな雇用の創出に向けた企業誘致の推進

・企業ニーズを把握し、市内工業用地のPRや各種支援により、企業誘致を推進するとともに、産学官が連携し地域経済の活性化と雇用の創出を図る。
内 容
○工場建設や用地取得、市民雇用に対する支援
○本社機能の移転促進に向けた支援
○工業団地の整備及びPRの推進

②市内企業における就労の拡大と人材の確保

・U I J ターン※希望者や地元の高校・大学等に通う学生に対し、市内企業の各種情報を提供することにより、市内企業への就労の拡大と人材の確保を図る。
内 容
○U I J ターン希望者や就職希望者に対する市内企業の求人情報の提供
○白山市合同就職説明会の開催

※ U I J ターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態を指す。

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
市内工業団地等への立地（新設・増設）件数	2 件	5 年間で 5 件
本社機能移転企業数	—	5 年間で 2 件
白山市合同就職説明会の参加者数	238 人	280 人

2

白山から日本海の豊かな自然と 歴史・文化を活かした「観光・交流」創生戦略

1) 基本目標

本市は、白山・手取川・日本海に育まれた豊かな自然環境や観光資源を有するとともに、祭りや食文化など地域固有の歴史・文化が色濃く残っている。また、「文化創生都市白山」として、地域に息づく文化のエネルギーをもとに、新たな魅力と輝きを生み出すまちづくりに積極的に取り組んでいる。さらに、大学などの教育機関との連携による地域の課題解決などの取り組みも進めている。

これらの地域資源にさらなる磨きをかけ、白山ブランドの確立を図るとともに、積極的なシティプロモーションの推進による観光・交流人口の拡大および多様な人材の受け入れ態勢を整備することにより、新しい「ひと」の流れを創出し、転入者の増加と転出者の縮減を目指す。

2) 施策の基本的方向

(1) 移住・定住を支える事業・制度の充実

良好な既存ストックの活用や新たな住宅地を整備するとともに、移住・定住を支援する仕組みの構築やきっかけづくりに向けた取り組みにより、移住・定住を促進する。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①移住・定住施策の推進
- ②受け入れ態勢の強化及び情報発信

(2) 山・川・海の魅力を活かした交流人口の拡大

白山・手取川・日本海の豊かな自然や歴史・伝統・文化等の地域資源を活かしたイベントの開催や、観光・交流拠点の整備等により、地域の魅力をさらに高め、観光交流人口の拡大を図る。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①地域資源を活かしたイベントの開催
- ②交流拠点となる施設の整備
- ③地域の魅力の向上と発信
- ④白山総合車両所等の活用と豊富な資源による観光振興と産業振興の強化

（３）地元大学等の充実と学生の定着化の促進

地元の大学等へ進学し、卒業生が市内企業に就職することで、若者の定着を図るとともに、教育機関と地域や民間企業と連携し、交流の活発化やネットワークの拡大などを進めることで、地域の課題解決や経済の発展を図る。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①市内・県内での進学や就職の促進
- ②大学と地域や企業等との連携の強化

３）成果指標

本市の豊かな自然や歴史・文化などの魅力を活かし、白山ブランドを確立するとともに、多様な人材の受入れ態勢の整備や学生の定着化の促進などの各種施策の展開により、移住・定住や市内外の交流を促進し、転入者の増加及び交流人口の拡大を図る。

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
人口の社会増減数	転出超過 133 人	5 年間で 転入超過 500 人
観光入込客数	4, 959, 262 人	5, 500, 000 人

4) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

（１） 移住・定住を支える事業・制度の充実

①移住・定住施策の推進

・良好な住宅地の整備を進め、市外からの転入者や白山ろく地域での定住を支援することにより、転入者の増加や転出者の抑止に努め、本市全域的に社会動態の改善を図る。
内 容
○市外からの定住者への住宅購入費等の支援
○白山ろく地域における住宅購入費等の支援
○土地区画整理事業による宅地の整備促進

②受け入れ態勢の強化及び情報発信

・移住に関する受け入れ態勢の強化により、移住しやすい環境づくりを推進する。
内 容
○空き家バンクの拡充及び情報提供
○空き家の改修などへの支援
○移住相談窓口の開設
○緑のふるさと協力派遣隊の受け入れ

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
市外から転入した新築住宅購入者数 （定住促進奨励金の利用件数）	139 件	220 件
土地区画整理事業 整備区画数	過去 5 年間で 505 区画	5 年間で 600 区画
空き家バンク成約件数	1 件	5 年間で 40 件

(2) 山・川・海の魅力を活かした交流人口の拡大

①地域資源を活かしたイベントの開催

- ・山・川・海などの地域資源を活かし本市の魅力を広く発信するとともに、滞在・体験活動や各種イベントへの支援により、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。

内 容

- 自然や農林水産業、伝統芸能等の体験活動への支援
- 地域イベント（祭りなど）への支援
- 白山開山 1300 年を契機とした白山ブランド確立に対する支援
- 市内で開催される合宿や修学旅行等に伴う宿泊に対する支援

②交流拠点となる施設の整備

- ・道の駅やスキー場・温泉などの交流拠点となる観光・文化施設の整備・充実を図るとともに、その魅力をPRすることで、交流人口の拡大及び地域の活性化を図る。

内 容

- 新たな観光拠点の整備
- 既存施設の整備・充実と利用促進

③地域の魅力の向上と発信

- ・地球規模の資源や自然遺産を保護しつつ教育や地域振興に活かすジオパーク活動を通じて、ふるさと学習や市内の魅力の再発見に努める。また、生態系の保全と持続可能な利活用の調和が目的のユネスコエコパークでは、環白山地域の連携により「白山」の高山植物など豊かな自然環境の保全や活用とともに、歴史や文化などの魅力の発信に努める。
- ・長い歴史の中で生まれ、育まれ、守り伝えられてきた貴重な文化財を保全・活用することで、本市の歴史や文化を次世代に継承し、地域の魅力向上や郷土愛の醸成を図る。
- ・芸術文化の振興により、地域の活性化を図る。

内 容

- 白山手取川ジオパーク及び白山ユネスコエコパークの推進
- 豊かな自然環境を活かした体験活動に対する支援
- 公衆無線LAN環境の整備
- 郷土会活動への支援
- 国指定文化財の拡充※と文化財保全活動に対する支援
- 博物館等文化施設における歴史・文化・芸術の発信

※ 国指定文化財の拡充：横江荘遺跡、舟岡山城跡など

④白山総合車両所等の活用と豊富な資源による観光振興と産業振興の強化

- ・新幹線や在来線、民鉄の鉄道関連施設が立地し、「鉄道技術」を身近に体験することができる環境を活かし、インバウンドを含む観光客等の受け入れに向けた環境整備を図る。
- ・「ものづくり産業」と豊かな「自然」を満喫できる環境整備に向けて、広域的な連携を図る。
- ・すべての旅行者がストレスなく快適に観光できる環境整備に向けて、関係機関と連携して推進を図る。

内 容
○鉄道関連施設の整備促進
○鉄道のPR事業の推進
○体験・見学ツアーの推進
○産業観光施設整備の推進
○自然環境整備事業の推進
○在来線施設整備の推進
○駅周辺整備の推進
○観光施設整備の推進
○アクセス道路整備の推進
○観光客受入環境整備事業の推進

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
白山白川郷 100km ウルトラマラソンの参加者数	1,258 人	2,000 人
道の駅※の利用者数 ※瀬女、一向一揆の里、しらやまさん、めぐみ白山	257,000 人	640,000 人
スキー場※の利用者数 ※白山千丈温泉セイモアスキー場、白山一里野温泉スキー場	162,659 人	179,000 人
宿泊客数	（H29）215,776 人	255,000 人
外国人旅行客数	（H29）5,317 人	5,550 人

(3) 地元大学等の充実と学生の定着化の促進

①市内・県内での進学や就職の促進

・魅力ある大学づくりへの支援により地元大学への進学を促進するとともに、学生と企業のマッチングにより学生の定着化を促進する。
内 容
○大学の魅力向上による地元大学への進学促進
○市内就職を促進する求人確保とマッチング機会の提供
○地元大学の機能強化（新設学部設置等への支援）

②大学と地域や企業等との連携の強化

・市内や県内の大学と企業等の連携により、地域の課題解決に取り組み、地域経済の活性化を図る。
内 容
○日本版CCRC※ ¹ の推進（多世代交流・多機能型拠点の整備）
○地（知）の拠点COC+※ ² の推進
○薬草産地化※ ³ の促進
○高等教育機関のキャンパスや研修施設設置による地域産業振興の推進
○再生可能エネルギー※ ⁴ の利用に向けた研究の促進

※1 日本版CCRC : 健康時から介護時まで継続的ケアを提供するコミュニティ
(Continuing Care Retirement Community)

※2 COC+ : 大学等が自治体と連携し、地域を志向した教育・研究・地域貢献を進め、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図る取り組み
(Center Of Community)

※3 薬草産地化 : 薬草を通じた学生と地域住民との交流・教育・研究・商品化に関する取り組み

※4 再生可能エネルギー : 太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなどのエネルギー源として持続的に利用することができるもの（白山ろく自然資源の活用を調査検討する取り組み）

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
市内大学卒業者の市内企業就職率	9.5%	15 %
大学・地域等の連携事業数	24 件	41 件

3

安心して子どもを産み育てられる 「子育て・教育」創生戦略

1) 基本目標

本市では、年少人口割合が減少傾向にあり、特に白山ろく地域ではその傾向が顕著である。今後、地域経済の安定化を図っていくためにも、将来を担う子どもたちを一人でも多く産み育てていくことができる環境を整備する必要がある。

これまでの子育て支援・教育環境向上等の各種施策を基本としながら、「ひと」の出会い・結婚・出産・子育てを切れ目なく支援するとともに、豊かな自然に触れながら、地域で子どもたちを育てる環境を整備し、子育て世代や子どもたちが本市に魅力や愛着を感じられる地域づくりを推進することにより、出生数や子育て世代の増加を目指す。

2) 施策の基本的方向

(1) 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のないサポートの充実

出産・育児に対する不安の解消や多様なニーズに応えた子育て支援など、妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援により、安心して産み育てられる環境づくりを推進する。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①妊娠・出産へのサポートの充実
- ②子育てへのサポートの充実
- ③地域での子育て環境の充実

(2) 子どもたちの教育環境の充実

豊かな自然・文化などの体験や、安心して学べる環境の整備などを通じて、子どもたちが本市の魅力を理解することにより、郷土への愛着や地域との絆の形成を図り、将来の本市を担う人材を育成する。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①郷土愛・健康な心と体を育む教育の推進
- ②誰もが安心して学べる環境の整備

(3) 出会いの場の創出と定住促進

独身者のニーズにあった情報発信や出会いの場の創出、さらに市民や企業の人的ネットワークを活かした縁結びの支援により、非婚化、晩婚化の解消による出生率の改善を図るとともに、新婚世帯や若年世帯の継続的な定住に向けた支援の充実により、子育て世帯の増加を図る。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①結婚活動の支援
- ②若年層の定住に向けた支援

(4) ワーク・ライフ・バランスの改善

育児・介護休業の取得促進や職場復帰しやすい環境づくりなど、多様な働き方の普及等を通じて、ワーク・ライフ・バランスの実現を図る。

＜具体的な取り組みの方向＞

①仕事と家庭の両立の支援

3) 成果指標

出会いの場から妊娠・出産・子育てまで切れ目のないサポートを推進するとともに、多様な働き方の普及やワーク・ライフ・バランスの改善などの各種施策の展開により、安心して産み育てられる環境づくりを推進し、出生率の向上を図る。

成 果 指 標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
合計特殊出生率	1.49	1.54

4) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

（１） 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のないサポートの充実

①妊娠・出産へのサポートの充実

・妊娠から産前・産後まで、母子ともに健やかに過ごせるような支援を充実させるとともに、不妊・不育治療への支援の充実により、子どもを産みやすい環境づくりを推進する。
内 容
○妊産婦や乳幼児の健診受診の促進
○産前・産後の支援
○不妊治療に対する支援

②子育てへのサポートの充実

・保育園の多機能化や、子育てに関する経済的な負担の軽減など、幅広いサポート体制の充実を図ることで、子育てがしやすい環境づくりを推進する。
内 容
○夜間・休日小児医療の診療体制の構築
○多様な子育てサービスの充実
○子育てに関する経済的負担の軽減

③地域での子育て環境の充実

・地域子育て拠点の設置による支援の充実や育児に関する相談窓口の設置とともに、3世代の同居や近居の促進により、子育て中の親の孤独感や不安感の解消を図る。
内 容
○3世代同居・近居の支援
○子育てに関する相談体制の充実

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
妊産婦、乳幼児の家庭訪問の実施数	1,774 件	1,800 件
不妊治療費助成事業の利用件数	229 件	290 件
地域子育て支援拠点（子育てひろば）設置数	11 か所	18 か所
一時保育の実施場所数	25 か所	31 か所
白山市三世帯同居・近居促進事業の利用件数	—	30 件

4-3. 安心して子どもを産み育てられる「子育て・教育」創生戦略

(2) 子どもたちの教育環境の充実

①郷土愛・健康な心と体を育む教育の推進

- ・健康を維持・向上する体力づくりを推奨し、豊かな自然や文化に触れるなど、本市独自の教育活動等を通じ、郷土を思う意識や愛着を深める教育を推進する。

内 容
○市内高等学校のレベルアップ支援
○情操豊かで互いに思いやる心の育成
○野外体験活動の機会増加の推進
○地域の文化や自然への理解を深める体験活動の推進
○スポーツに親しめる環境づくり及びジュニア競技の育成・強化の推進

②誰もが安心して学べる環境の整備

- ・経済的な理由や通学が困難な地域の児童・生徒等に対する各種支援や学習環境の充実を図り、誰もが安心して学べる環境づくりを推進する。

内 容
○学習環境に対するきめ細かい支援（少人数教育の推進・外国語教育の充実等）
○教育の経済的負担に対する各種支援
○遠距離通学者への支援

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
野外体験活動の参加人数	121 人	210 人
白山ろく地域高等学校通学費助成の利用件数	109 件	130 件

(3) 出会いの場の創出と定住促進

①結婚活動の支援

- ・様々な出会いの場やマッチング機会の提供などにより、結婚に対する意識高揚を図り、非婚化・晩婚化の抑制に努める。

内 容
○縁結びサポーターによる婚活支援
○婚活イベントやセミナー等の開催による出会いの場の提供

4-3. 安心して子どもを産み育てられる「子育て・教育」創生戦略

②若年層の定住に向けた支援

・新婚世帯や若年層の世帯が安心して暮らし続けられるような支援を充実することで若い世代の転出を抑止し、将来的な定住促進と地域の活性化を図る。
内 容
○若年層の新築住宅の購入への支援
○新婚者への家賃補助

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
婚活イベントでのカップル成立数	過去平均 8.5 件／年	17 件
若年層定住促進奨励金の利用件数	132 件	170 件
新婚夫婦賃貸住宅家賃助成の利用件数	175 件	210 件

（４） ワーク・ライフ・バランスの改善

①仕事と家庭の両立の支援

・保育サービスの多様化や放課後児童クラブの運営の充実を図るとともに、ワーク・ライフ・バランスに積極的な取り組みを行う企業の表彰や、経営者への意識啓発により働き方の改善を促進することで、仕事と家庭の両立を支援する。
内 容
○育児・介護休業や職場復帰等がしやすい環境づくりの促進
○ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む優良事業所の表彰
○経営者への意識啓発

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
延長保育を行う保育所数	21 か所	31 か所
病児・体調不良児保育を行う保育所数	14 か所	22 か所
放課後児童クラブ入所希望者の入所率	100%	100%維持

4

**平野部と白山ろく地域の安全・安心なくらしを
守りつなぐ「都市・地域」創生戦略****1) 基本目標**

本市は、平野部3地域（松任・美川・鶴来）と白山ろく5地域（河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰）からなる県内最大の面積を有しており、時代に応じた地域づくりとその連携が課題となっている。

本市の魅力である8つの地域特性を守りながら、将来的な人口減少及び高齢化などの時代の変化に応じて生じる課題解決に向け、地域住民が主体となり安全・安心な「まち」づくりを展開するとともに、地域間及び広域的なネットワークの強化を図り、持続可能な地域社会の構築を目指す。

2) 施策の基本的方向**（1）生活基盤の充実とストックマネジメントの推進**

公共交通の利便性を高め、市民ニーズの変化等に対応した既存ストックの有効活用及び計画的な維持管理などにより、安全で暮らしやすい生活環境づくりを推進し、定住人口の増加を図る。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①公共交通の利便性の向上と利用促進
- ②既存ストックの維持管理及び更新
- ③安全で便利な生活基盤の整備

（2）医療・福祉の充実と健康づくりの推進

どの地域に暮らしても安心して医療が受けられる体制を整備するとともに、本市の豊かな食を活かした健康づくりや、高齢者が活躍できる場の創出及び地域での支え合いの体制を構築することにより、誰もが住み慣れた場所で、安心して、健康に暮らし続けられる地域づくりを推進する。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①医療体制の充実
- ②健康寿命の延伸
- ③支え合いの体制づくり

4-4. 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

(3) 地域の防災力向上に資する取り組みの推進

これまでの災害の教訓を活かし、災害に対する十分な備えと緊急時に的確に対応できる体制を構築するとともに、自助・共助・公助の役割に基づく地域における防災力を高め、市民の生命や財産を守る。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①地域防災力の強化
- ②消防・防災基盤の強化

(4) 魅力ある地域づくりとシビックプライドの醸成

特色ある文化・景観などを活かした取り組みやそれぞれの長所を活かした広域的な連携を進め、魅力ある地域づくりを進めるとともに、コミュニティを支える人材の育成や市民が主体的に地域課題の解決に取り組める環境の整備など、シビックプライド（地域に対する誇りや愛着）を醸成し転出者の縮減を図るとともに、市民が誇りをもって暮らせる地域づくりを推進する。

＜具体的な取り組みの方向＞

- ①コミュニティ活動の促進とまちなかの賑わいの創出
- ②特色のある文化活動の振興
- ③美しい景観の保全と活用
- ④連携中枢都市圏の推進
- ⑤市民提案型まちづくりに向けた取り組み

3) 成果指標

安全・安心で魅力ある地域づくりや、シビックプライドの醸成につながる各種施策の展開により、市民が住み良い、住んでよかったと感じる「まち」づくりを推進し、住み良いと感じる市民の割合を高め、人口の維持を図る。

成 果 指 標	基準値 (H26)	目標値 (H31)
住み良いと感じる市民の割合※	59%	70%

※結婚・出産アンケート調査結果において、「住み良い」「まあまあ住み良い」と回答した割合

4) 具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

(1) 生活基盤の充実とストックマネジメントの推進

①公共交通の利便性の向上と利用促進

- ・市民の生活の足である公共交通のさらなる利便性の向上と利用促進を図り、持続可能な運行を確立する。

内 容
○在来線新駅の整備
○公共交通の利便性の向上（コミュニティバス、路線バス、北陸鉄道石川線）
○アクセス機能強化のための道路整備

②既存ストックの維持管理及び更新

- ・公共施設や住宅、既存のインフラの有効活用と計画的な維持管理及び更新を図り、快適で、賑わいのあるまちづくりを推進する。

内 容
○空き家対策の推進
○中心市街地の再整備
○住宅の耐震化の促進
○公共施設の総合管理
○道路・橋りょう等の長寿命化の推進

③安全で便利な生活基盤の整備

- ・交通安全と防犯の向上を図るとともに、情報インフラの整備による市内での情報格差の是正を図り、どの地域においても、安全で便利な生活基盤の整備を推進する。

内 容
○交通安全・防犯対策の推進
○防犯カメラ設置の推進
○情報基盤の整備
○冬季間の雪害対策への支援
○道路の狭隘区間の解消

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
コミュニティバスの利用者数	132 千人	155 千人
北陸鉄道石川線の利用者数	1,169 千人	1,200 千人
空き家バンク登録件数	9 件	70 件

4-4. 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

(2) 医療・福祉の充実と健康づくりの推進

①医療体制の充実

・医療機関の受診が困難な方の適切な医療を確保するとともに、祝休日等でも診察を受けられる医療環境の充実を図る。
内 容
○地域医療体制の充実
○緊急医療体制の充実
○広域による夜間小児科診療の実施

②健康寿命の延伸

・生活習慣病の早期発見及び保健指導による生活習慣の改善並びに生涯スポーツ、健康生活支援企業との連携や食を通じた健康づくりにより、健康寿命の延伸を図る。
・働くことやボランティアなど高齢者の活躍の場を提供・支援し、社会参加を促進することにより、高齢者の生きがいがいづくりと健康寿命の延伸を図る。
内 容
○各種検診や保健指導の充実
○食を通じた健康づくりの推進
○健康生活支援企業と連携した健康づくりの推進
○生涯スポーツを通じた健康づくりの推進
○高齢者の社会参加への支援

③支え合いの体制づくり

・地域包括ケアシステムの構築などにより、住み慣れた場所で、安心して暮らし続けられる福祉体制の充実を図る。
内 容
○福祉団体活動の充実
○地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みの推進

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
特定健診の受診率	50.7%	62%
がん検診受診者数	23,283 人	32,400 人
地域ケア会議の開催回数	7 回	170 回

(3) 地域の防災力向上に資する取り組みの推進

①地域防災力の強化

・消防団員の確保や町内会ごとの防災士の育成、自主防災組織の結成などにより、消防団を中核とした地域の防災力の強化を図る。
内 容
○消防団や自主防災組織への支援
○自主防災リーダー（防災士）の育成

②消防・防災基盤の強化

・消防機器や防災備蓄品等を計画的に配置することで、地域消防力の充実を図るとともに、安全な避難経路の確保や通信体制の整備、避難施設への防災備蓄品配備などにより、防災基盤の確保を図る。
内 容
○消防団装備の充実・強化
○デジタル防災行政無線の整備
○避難施設への防災備蓄品配備

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
防災士の人数（累計）	234 人	384 人

4-4. 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

(4) 魅力ある地域づくりとシビックプライドの醸成

①コミュニティ活動の促進とまちなかの賑わいの創出

- ・コミュニティ活動を支える人材や団体の育成を図るとともに、公民館を中心とした地域づくりや食などの特色あるテーマを題材とした活動の促進などにより、地域の活性化を図る。

内 容

- 公民館活動の支援
- 地域づくり団体や青少年団体の育成
- 地産地消イベントの開催

②特色のある文化活動の振興

- ・各種文化・芸能活動の促進による文化の振興や、同じ地域に住む市民の多文化共生を図る。

内 容

- 地域の文化活動への支援
- 国際交流・多文化共生の推進

③美しい景観の保全と活用

- ・本市の豊かな自然景観や古くから残る町並みの保全・活用に対する支援を充実することにより、魅力ある景観まちづくりを推進し、郷土への愛着を高める。

内 容

- 景観まちづくりの推進
- 白峰重要伝統的建造物群保存地区の保全・活用に対する支援
- 地域の緑化活動の推進

④連携中枢都市圏の推進

・近隣市町と連携し、圏域全体の経済成長や高次の都市機能の集積・強化を図るとともに、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図る。
内 容
○圏域全体の経済成長のけん引
○高次の都市機能の集積・強化
○生活関連機能サービスの向上

⑤市民提案型まちづくりに向けた取り組み

・地域の課題解決やコミュニティ向上のため、市民の提案によるまちづくりを推進する。
内 容
○市民提案型によるまちづくりの推進

【重要業績評価指標（KPI）】

成 果 指 標	基準値（H26）	目標値（H31）
景観まちづくり整備事業補助利用件数	2 件	4 件
市民提案事業取組数	—	28 件

白山市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

策 定 平成 2 7 年 1 0 月

改 訂 平成 2 9 年 3 月

改 訂 平成 3 0 年 3 月

改 訂 平成 3 0 年 8 月

発行者 白山市

編 集 白山市企画振興部 企画課

〒924-8688

白山市倉光二丁目 1 番地

TEL (076) 276-1111 (代表)